

開学70周年記念

秋季特別企画展

知られざる異才

高屋哲

タカヤシヨウテツ

近世美術っておもしろい。

2016年
10月21日(金)~11月6日(日)

開場時間：10:00-17:30 (10月25日、26日、11月1日、2日は休場)

場所：金沢美術工芸大学 図書館棟2階 展示室

主催：金沢美術工芸大学 美術工芸研究所 後援：北國新聞社

入場無料

金沢美術工芸大学
美術工芸研究所

KANAZAWA COLLEGE OF ART
Research Institute of Art and Design

石川県金沢市小立野6丁目11番1号 076-262-3519

だって、
ほぼ初公開。



「観音菩薩・十羅刹女圖(部分)」(普賢-2)
126.0×55.0cm 墨線、炭筆、鉛筆修正
大正11年12月7日



「男性顔部像(部分)」(近代肖像-25)
16.5×12.0cm 墨線、墨彩
制作年不明



「観音菩薩圖(部分)」(観音-101)
113.0×42.0cm 墨線、着彩、胡粉修正
昭和4年1月



「観音菩薩圖(部分)」(観音-102)
112.0×42.0cm 墨線、着彩、胡粉修正
昭和4年1月



「武人圖(部分)」(歴史人物-1)
133.7×84.5cm 墨線、胡粉修正
制作年不明



「楠正成國/平身圖(部分)」(肖像-4)
39.0×27.3cm 墨彩、炭筆
制作年不明

知られざる異才
高屋肖哲。

高屋肖哲(1866-1945)は狩野芳崖の弟子で、その実力は芳崖四天王のひとりに数えられるほどであったといえます。また、東京美術学校(現東京藝大)に入学し、卒業後は一時期ですが、石川県工業学校で教鞭をとりました。晩年は各地を放浪して制作に打ち込んだと言われますが、現在まであまり注目されることがなく、今まで見逃されてきた画家と言えるでしょう。

平成9年から平成11年にかけて行われた、金沢美術工芸大学美術工芸研究所共同プロジェクト「高屋肖哲の絵画資料研究」において、本資料の大々的な調査・整理が行われ、これらの資料は本学に寄贈されることとなりました。近年では、平成28年4月に「高屋肖哲一様写・資料から見る国家の絵画学習と研鑽」が開催され、話題となったのが記憶に新しいところです。

今回の展示では悲母観音の模写をはじめ、肖哲の本質である仏教絵画を中心に展示公開いたします。昨年度から、再調査と整理を行ってきたこれらの資料は、ほぼ全てが初公開となります。肖哲については近年研究が進められており、今後、注目度の高い画家であります。どうぞこの機会に、高屋肖哲という画家の制作にかける想いと、明治時代以降の近代美術の魅力を感じていただければ幸いです。

金沢美術工芸大学
美術工芸研究所

KANAZAWA COLLEGE OF ART
Research Institute of Art and Design

交通アクセス

★大学には駐車場がありません。

お越しの際は公共交通機関をご利用ください。

バス(北越バス)

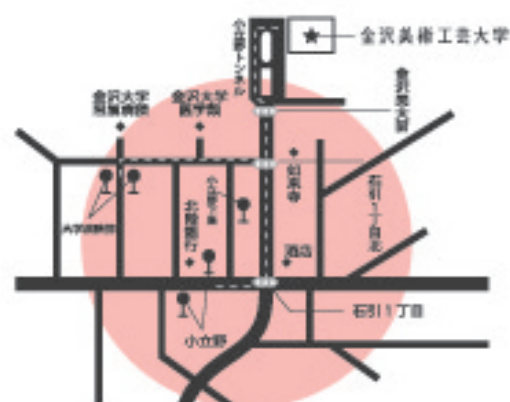
JR 金沢駅バスターミナルから次の系統のバスにご乗車いただき小立野バス停下車(乗車約25分、下車徒歩約8分)

●東口バスターミナル5番のりば: 11番系統、12番系統、16番系統

●東口バスターミナル6番のりば: 13番系統、14番系統

●西口バスターミナル5番のりば: 10番系統

タクシー JR 金沢駅から約20分



【出品作品】

「歴史場面図」(歴史人物-7)175.2×121.0cm / 「観音菩薩」(観音-113)133.0×51.0cm 大正10年1月21日 / 「悲母観音図」(観音-115)74.0×51.0cm 大正元年11月7日 / 「悲母観音図(模写)」(観音-119)201.0×87.5cm / 「悲母観音図(模写)」(観音-9)79.2×36.3cm 昭和9年10月16日 / 「涅槃図(模写)」(涅槃-1)161.5×145.5cm / 「観音菩薩圖」(観音-100)190.0×87.0cm / 「観音菩薩圖」(観音-105)119.5×51.2cm 大正14年2月5日 / 「雑筆抄録」(抄録-1~37)全35巻 明治32年~昭和15年 ほか

表紙:高屋肖哲「観音菩薩圖(観音-103)」166.5×75.0cm 大正10年9月14日